

第1学年1組 英語科学習指導案

日 時：平成29年11月1日（水） 第5校時
場 所：多治見市立笠原小学校 第1学年1組教室
指導者：HRT 三原 照美

1 単元名 『かたちであそぼう』（算数科）

2 教材観

(1) 題材について

本単元では、コンテンツとして算数科に関する内容を扱う。第1学年の算数科「C図形」の学習では、具体物を用いた活動等を通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにすることを目標としている。これを受けて「いろいろなかたち」の単元で、身のまわりにあるものの形について、身のまわりの立体の面の形に着目し、観察したり、面の形を写し取って絵を描いたり、形を組み合わせて具体物を作ったりする活動を通して、ものの形を認めたり特徴をとらえたりする学習を行う。

児童はこれまで、図画工作科で好きな形を画用紙に描いたり、折り紙を切って七夕の飾りを作ったりする活動を行った。そのとき、「ここは星形にしよう。」「紙を折って切ったらハートみたいな形になった。」と様々な形に興味をもち、意欲的に活動することができた。また、積み木や粘土で作ったものを組み合わせて、動物や建物を作ったときも、形を組み合わせると新しい形ができることに喜びを感じ、教師や友だちに「家になった。」「大きい木ができた。」と嬉しそうに報告する姿が見られた。

本単元では、算数科の学習に関連して、算数科で学習する正方形、長方形、三角形、円にひし形、星形、ハート形を加え、児童の形への関心をさらに高め、形についての知識を深め、いろいろな形の名前を英語でも言ってみたい、形を組み合わせて好きな絵を完成させたいという意欲をもたせたいと考えた。

また、自分のしたことや作ったものを人に見せて、認めてもらいたいという意識の強いこの時期の児童の特徴を踏まえ、単元の終末に作った絵をお互い見せ合う活動を取り入れる。それによって、友だちに見せるためにいい絵を完成させたい、そのためには自分の欲しい形をやりとりしなければならないという意識が働き、正しい英語表現を進んで使うことができると考えた。

(2) 言語材料について

表現 【何の絵かを問答する表現】 ・ What's this? ・ This is (house)?

【形カードのやりとりに使う表現】 ・ What shape (do you want)? ・ (Circle), please. ・ Here you are. ・ Thank you.

【聞き手が理解しているか確認する表現】 ・ (Circle), OK?

語彙 【形を表す名詞】 ・ circle, triangle, square, rectangle, heart, diamond, star

(3) 言語活動と指導意図

本単元では、小学校学習指導要領外国語編の「話すこと」の「ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。」を中心に指導する。指導目標と評価規準は以下のとおりである。

【指導目標】

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているが確認しながら積極的に話している。
技能	話題	様々な形について
	内容	形の名称や形を組み合わせて作った絵を
	言語材料	欲しい形をもらったり、絵を伝え合ったりする英語表現を用いるとともに
	表現・理解の方法	相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話しながら
	程度	5語前後、1～2往復程度の英語で問答することができる。
言語・文化の知識・理解		形の名前について問答する言語材料を正しく理解している。

【評価規準】『5 単元指導計画』参照

これらの目標を具現するために、本単元の終末においては、以下のようなコミュニケーションを図る活動を行う。

自分が集めた形のカードを組み合わせて完成させた絵を見せ合い、何の形かを尋ね合う活動を行う。

3 児童観

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度に関わって

活動を楽しんで行い、自分から進んでコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。これまでの学習では、玉入れゲームをしてボールの数を数え合ったり、色のシールをやりとりしたりする活動をしてきた。その中で、新しく学習する英語表現を積極的に使って会話をしようとする態度が見られるようになった。また、自分の思いを相手に正しく伝えるために聞き取りやすい声ではっきり話そうとする姿や、理解できなかったときに、“One more time, please.”等と言って、言い直しを求める姿が見られるようになり、正しく伝えたい、正しく聞き取りたいという意欲が高まってきた。

しかし、早く多く会話をしたいと思うあまり、相手を見ないで会話をしたり、無表情で話したりする姿が見られるようになってきた。また、欲しい色のシールをやり取りするとき、“Red, please”と言われて、本当に赤でいいか確かめたいときにどうしたらいいかわからず、表情を使ったり、「赤でいい？」等と尋ねたりすることがあった。

そこで本単元では、形のカードをやりとりする活動とできあがった絵を見せて何に見えるかを尋ね合う活動を設定し、相手の欲しい形のカードを正しく渡せるように“(Circle), OK?”と確認しながら話したりすること、相手をリラックスさせるために笑顔で話すことを目標とした。そうすることで、聞き手が自分の話の内容を理解したかどうか確認しながら話そうとする態度や、笑顔を見せながら話す態度が身に付くと考えた。

(2) 外国語表現の能力に関わって

児童はこれまでに“*How many (balls) ?*”“*What food (do you like)?*”“*Where do you live?*”という疑問文に触れてきている。何度も同じ表現を繰り返し使う中で正しい英語表現を身に付けたり、適切な音量と明確な音声で話したりすることができるようになった児童が多い。しかし、英語表現がよく分からないという不安から、声が小さくなってしまったり児童がいた。また、ボールやシールという現物があるために、正しい英語表現を使わなくても、適切な音量や明瞭な音声で話さなくても話の内容が伝わってしまい、会話がいい加減になってしまうということもあった。

そこで本単元では、形の名前を正しく伝えて自分の欲しい形カードをもらうという場と、できた絵を見せながら何の絵であるかを伝える場を設定し、正しく話す必然性、適切な音量と明瞭な音声で話す必然性をもたせ、欲しい形の名前や、自分が何の絵を作ったかを正しく明瞭に話す力を付けることをねらう。

(3) 言語や文化に関する知識・理解に関わって

本単元では、形の名前と欲しい形を尋ね合う表現、できた絵が何に見えるかを尋ね合う表現を学習する。扱う言語材料の数が多くなるので確実に定着させたい。そのために、単位時間の初めに歌を歌ったり、形ゲームを取り入れたことや、児童の様子を見て、正しい表現を練習する活動をその都度取り入れていく。

4 指導観

(1) コミュニケーションの必然を生む問題解決的な活動について

形カードをもらって組み合わせる絵を描く活動と、その絵を見せて何に見えるかクイズを出し合う活動を仕組み、描きたい絵を完成させるために自分の欲しい形を正しく伝えなければならない、相手の欲しい形を渡すために正しく聞き取らなくてはならないという必然性、クイズの答えが正しいかどうか判断するために相手の話を正しく聞き取らなくてはならないという必然性をもたせた。

(2) 伝え合う内容について

ウ 他の教科・領域の理解を広めたり深めたりすることのできる情報

形カードをやりとりすることで、算数科で学習した形の他にもいろいろな形があり、それぞれ英語でも名前が付いていることを理解することができる。また、もらった形カードで絵を作り、それを交流することで形を組み合わせたり、向きを変えたりすると新しい形ができることや、それぞれの形の特徴をより理解することができる。このことから、できた絵を見せながら何に見えるかと考え、伝え合うことは価値があると考えた。

(3) 定着を図るための手立て

第1時でHRTとALTが単元の出口の活動のモデルを示し、形の名前に対する関心や、自分もいろいろな形のカードを集めてクイズを出したいという意欲をもたせる。また、クイズを出しながら形の名前を英語で言ったり、児童に問いかけたりして、形の英語名を理解させていく。第2時以降は、授業の導入でHRTとALTによるモデルスキットを示し、態度面で大切にしたいことへの気付きだけでなく、基本となる言語材料を繰り返し聞き、耳での理解を図っていく。また、扱う言語材料は“*What shape do you want?*”“*What's this?*”という同じものにして定着を図る。

また、指導援助として、コミュニケーション活動中には、定着が不十分な児童にHRTとALTが寄り添い、適切な英語表現を示したり、学級全体の定着が不十分であれば、中間交流の場を活用し、再度定着を図ったりしていく。

第1学年 11月「かたちであそぼう」(算数科) 単元指導計画【全4時間】 多治見市立笠原小学校

過去の指導との関連 【題材について】 年少 6月 形を扱う。 【言語材料について】 1年 6・7月「なにいろにしようかな」で What ～? について指導する。 【活動のタイプについて】 1年 6月「いくつか」で Dialog 形式で活動する。	中心となる指導事項 話すこと〔やり取り〕ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。	本単元の指導目標 コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているが確認しながら積極的に話している。	基本となる言語材料 ・What's this? ・It's a (house). ・What shape (do you want)? ・(Circle), please. ・(Circle), OK? ・Here you are. ・Thank you. ・circle, triangle, square, rectangle, heart diamond, star	今後の指導への発展 【題材について】 2年 7・9月「かたちづくり」で形を扱う。 【言語材料について】 2年 12月「クリスマスツリーをつくろう」で、“What color do you want?”について指導する。 【活動のタイプについて】 1年 3月「インタビュービンゴ」Dialog 形式で活動する。
		技能	話題 様々な形について 内容 形の名称や形を組み合わせて作った絵を 言語材料 欲しい形をもらったり、絵を伝え合ったりする英語表現を用いるとともに 表現・理解の方法 相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話しながら 程度 5語前後、1～2往復程度の英語で問答することができる。		
題材と伝え合う内容 ・形の名称		終末の活動の工夫 (Dialog 形式) ・形を組み合わせて絵を完成させるという目的をもたせ、様々な色の形を集めるという必然性をもたせた。		言語の使用場面 (ア) 児童の身近な暮らしに関わる場面 言語の働き (エ) 考えや意図を伝える ・意見を言う	

本単元の評価規準			
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 言語活動への取組：“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。	【外国語表現の能力】 正確さ：形の名前について問答することができる。	【外国語理解の能力】 正確さ：	【言語や文化に関する知識・理解】 言語についての知識：形の名前について問答する言語材料を正しく理解している。
コミュニケーションの継続：	適切さ：相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話することができる。	適切さ：	文化についての理解：

本単元の指導の概要

【導入】 第1時 ねらい ：ALT と HLT のやりとりを聞く活動を通して、形の名前について問答する言語材料を正しく理解し、形の名前について問答することができる。 課題 どんなかたちができるかな。 活動の概要 ・ Small Activity: どの動物か尋ね合う。 ・ 絵カードを見て、ALT の後について形の名前を英語で言う。(circle, triangle, square, rectangle の4種類) ・ 歌“Candies”を身体で形を作りながら歌う。 ・ 絵を見てどんな形か答える。 “What's this?” — “Triangle.” “Circle and rectangle.” ・ ALT と HRT のやり取りを聞いて、活動の方法を理解し、課題を知る。 ・ できあがった絵は何かを答える。 ・ 絵カードを見て、形の名前の言い方を確認する。 ・ 表現の正確さを計るためのチェックタイムを行う。ALT の話を聞いて、形の名前について問答する英語表現はどれか選ぶ。 評価規準 ・ 形の名前について問答する言語材料を正しく理解している。(言語・知識) ・ 形の名前について問答することができる。(表現・正確さ)	【中盤】 第2時 ねらい ：自分の欲しい形をもらったり、絵を伝え合ったりする活動を通して、“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話すとともに、形の名前について問答することができる。 課題 かたちをもらって、えをかこう！ 活動の概要 ・ Small Activity: 形のタッチゲームを行う。 ・ 身体で形を作りながら“Candies”を歌う。 ・ カードを見て形の名前を練習する。(circle, triangle, square, rectangle の4種類) ・ ALT が言った形をワークシートに描く。 ・ ALT と HRT のやり取りを聞いて、活動の方法を理解し、課題を設定する。 ・ 4種類の形の中から欲しい形をもらう。 “What shape (do you want)?” — “(Star), please.” ・ 役割を交代しながら、形カードを渡したりもらったりする。 ・ もらった形カードを組み合わせて、絵を作る。 ・ できた絵をペア、グループで見せ合う。 ・ 表現の正確さを計るためのチェックタイムを行う。ALT に欲しい形を尋ね、正しく発話できたか自己評価をする。 評価規準 ・ 形の名前について問答することができる。(表現・正確さ) ・ “OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。(関心・取組)	【終末】 第3時 ねらい ：自分の欲しい形をもらったり、できた絵を交流したりする活動を通して、“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら、相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で、形の名前について積極的に問答することができる。 課題 かたちをもらって、えをかいてともだちにみてもらおう！ 活動の概要 ・ Small Activity: 形のカルタ取りを行う。 ・ 身体で形を作りながら“Candies”を歌う。 ・ 形カードを見て形の名前の言い方に慣れる。(circle, triangle, square, rectangle, heart, diamond, star の7種類) ・ ALT と HRT のやり取りを聞いて、活動の方法を理解し、課題を知る。 ・ 7種類の形の中から欲しい形をもらう。 ・ もらった形を並べて絵を完成させる。 ・ できた絵が何に見えるかペアで交流する。 “What's this?” — “It's a (dog).” 評価規準 ・ 相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話することができる。(表現・適切さ) ・ “OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。(関心・取組)	【終末】 第4時 ねらい ：できた絵を交流する活動を通して、形の名前について問答する言語材料を正しく理解するとともに、“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら、相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で、できあがった絵について問答することができる。 課題 できたえをみせあって、クイズをだしあおう！ 活動の概要 ・ Small Activity: 形のカルタ取りを行う。 ・ 身体で形を作りながら“Candies”を歌う。 ・ ALT と HRT のやり取りを聞いて、活動の方法を理解し、課題を知る。 ・ クイズの出し方を練習する。 ・ 完成した絵を見せ合い、何に見えるかクイズを出し合う。“What's this?” — “It's a (dog).” ・ 言語の知識を計るためのチャレンジクイズを行う。ALT に言われた形を選ぶ。欲しい色を尋ねる英語表現を選ぶ。 評価規準 ・ “OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。(関心・取組) ・ 相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話することができる。(表現・適切さ) ・ 形の名前について問答する言語材料を正しく理解している。(言語・知識)
--	---	---	---

6 本時のねらい

自分の欲しい形をもらったり、できた絵を交流したりする活動を通して、“OK?”等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら、相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で、形の名前について正しく積極的に問答することができる。

7 本時の展開 (3/4)

時	児童の学習活動	指導・援助 (○) と留意点 (・)	補助教材等														
1	Greeting ・あいさつをする	児童とともに挨拶をする。															
3	Small activities ・形のカルタ取りゲームを行う。	○初めに教師対児童で話し方の練習をする。 ○児童の様子を見て、正しい形を取れていない児童に助言をする。															
5 5 10 10 5	Activities ① 身体で形を作りながら“Candies”を歌う。 ② 形のカードを見て形の英語名を確認し、言い方に慣れる。 ③ HRTのモデルを見て、活動の内容を理解し、課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">かたちカードをもらってえをかいて、ともだちにみてもらおう。</div> ④ 本時大切にしたい姿を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">話し方のポイント ・相手が聞きやすい大きさの声で、はっきりと話そう。 ・OK?とたしかめながら話そう。</div> ⑤ 絵の例を見ながら、自分はどんな絵を作りたいか考える。 ⑥ customer と shop keeper の2つに分かれて、欲しい形カードのやりとりをする。(前半①) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">C1: Hello.</td> <td style="width: 50%;">C2: Hello. What shape (do you want) ?</td> </tr> <tr> <td>C1: Circle, please.</td> <td>C2: Circle, OK?</td> </tr> <tr> <td>C1: OK.</td> <td>C2: Here you are.</td> </tr> <tr> <td>C1: Thank you.</td> <td>C2: See you.</td> </tr> </table> </div> ⑦ 中間の高め合いの場1で、定着していない英語表現を確認して練習したり、目指す姿を確認したりする。 ⑧ 高め合いの場で確認したことを生かして、前半②の活動を行う。 ⑨ customer と shop keeper の役割を交替し、後半①の活動をする。 ⑩ 中間の高め合いの場2で、目指す姿をもう一度確認し、よい姿を交流する。 ⑪ 後半②の活動を続ける。 ⑫ もらった形を並べて絵を作り、ペアで交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">C1: What's this? Can you guess?</td> <td style="width: 33%;">C2: It's a house.</td> </tr> <tr> <td>C1: House, OK?</td> <td>C2: OK.</td> </tr> <tr> <td>C1: That's right.</td> <td>C2: Thank you.</td> </tr> </table> </div>	C1: Hello.	C2: Hello. What shape (do you want) ?	C1: Circle, please.	C2: Circle, OK?	C1: OK.	C2: Here you are.	C1: Thank you.	C2: See you.	C1: What's this? Can you guess?	C2: It's a house.	C1: House, OK?	C2: OK.	C1: That's right.	C2: Thank you.	○児童とともに歌を歌う。 ○HRT が shopkeeper(C2)の立場、児童が customer(C1)の立場で対話をし、話し方の手本を示す。 ・笑顔や目を見ることを意識し、OK?と言って確かめながら、適切な音量と明瞭な音声で話す。 ○よい例とよくない例を示し、話し方のポイントを確認する。なぜその話し方がいいのかを考えさせ、適切な音量と明瞭な音声で話すよさや、OK?と確かめることの大切さを実感させる。 ○作りたい絵を想像しやすいように、何種類かの絵の例を提示する。 ○児童の活動の様子を見て、英語表現が使えているかを確認したり、話し方の手本を示したりする。 ○児童の活動の様子を見て、話し方のポイントとなる姿を示すことができているかを確認し、評価する。 【中間の高め合いの場1】 ○話し方のポイントを再度確認し、聞きやすい大きさの声で話したり、はっきりと話したりしている児童の姿を紹介して広める。 ○児童に難しいことや困っていることを尋ね、定着していない英語表現をもう一度練習する。 【中間の高め合いの場2】 ○話し方のポイントを意識して話している児童をモデルにし、よい姿を全体に広める。 ○できた絵の英語表現が分からない児童に教えたり、むずかしいときにはIt's+日本語でもいいと助言したりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【評価規準】 ・相手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で話すことができる。(表現・適切さ) ・OK?等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。(関心・取組) </div>	・CD ・形カード (掲示用) ・話し方のポイントの掲示 ・形カード (児童用)
C1: Hello.	C2: Hello. What shape (do you want) ?																
C1: Circle, please.	C2: Circle, OK?																
C1: OK.	C2: Here you are.																
C1: Thank you.	C2: See you.																
C1: What's this? Can you guess?	C2: It's a house.																
C1: House, OK?	C2: OK.																
C1: That's right.	C2: Thank you.																
5	Comments ○本時の振り返りをする。 「大きい声ではっきり話したから、欲しい形がもらえたのでよかったです。」「OK?と確かめながら相手の欲しいカードを渡すことができ嬉しかったです。」「できた絵を友だちに見てもらって、楽しかったです。」	・伝わりやすい適切な音量と明瞭な音声で話していた姿や、OK?等を使って聞き手に確かめながら積極的に話していた姿を紹介し、価値付ける。 ・できた絵を使って学級の友だちにクイズを出そうと呼びかけ、次時の意欲をもたせる。	・コメントカード														
1	Greeting Thank you, Mihara sensei.	Thank you, everyone.															